

文27名に①し②負は③ば

④いざ⑤こと問は⑥む都鳥

わが思ふ人は⑦ありやなしやと

問一 文中に「し」という単語が

あった場合、次の三つの可能性があるが、傍線部の①

「し」は次のどれにあたるか。

ア サ変動詞「す」の連用形

◎ せしすするすれせよ

◎ 「する」と訳せる。

例 うつくしきさまして

イ 過去の助動詞「き」の連体形

◎ せ〇きししか〇

◎ 連用形＋「し」＋名詞

▼ 連用形につく助動詞

▼ 連体形だから下に名詞

ウ 強意の意味を付け加える助詞

◎ 削除しても不自然にならない。

文27名に①し②負は③ば

④いざ⑤こと問は⑥む都鳥

わが思ふ人は⑦ありやなしやと

問二 傍線部②「負は」の終止形は

「負ふ」で、「ず」をつける

と「負はず」になり、「ず」

の上がア段になるので、四段

活用（ア―イ―ウ―エ―エ）で

ある。この「負は」は何形か。

ア未然 イ連用 ウ終止 エ連体

才已然 カ命令

文27名に①し②負は③ば

④いざ⑤こと問は⑥む都鳥  
わが思ふ人は⑦ありやなしやと

問三 傍線部⑤の「ば」は次の三つの訳を持つ。この場合は？

アもしくならば

※未然形＋「ば」

イくので

※已然形＋「ば」で、

「ば」の上の出来事が原因で、  
「ば」の下が出来事が起こった。

ウくするとくしたところ

※已然形＋「ば」で、

「ば」の上の出来事のあと、  
「ば」の下が出来事が

たまたまが起こった。

問四 傍線部④は「さあ」という訳になるが、次のどちらにあたるか。

ア人に誘いかけるときのかけ声  
例 皆の者、いざ戦はむ。

イ自分が始めるときのかけ声  
例 寒し。いざ風呂入らむ。

文27名に①し②負は③ば

④いざ⑤こと問は⑥む都鳥

わが思ふ人は⑦ありやなしやと

問五

傍線部⑤の終止形は「言問

ふ」で、次の四つの意味を持つが、ここではどの意味で使われているか。

ア物を言う

例 言問はぬ犬とてなさけありけり。

イ尋ねる

例 「宿題や終へたる。」と友に言問ひけり。

ウ訪れる

例 言問ふ人もなき村なり。

エ手紙を書く

例 遠く離れし田舎の母へ言問ひけり。

文27名に①し②負は③ば

④いざ⑤こと問は⑥む都鳥

わが思ふ人は⑦ありやなしやと

問六 傍線部⑥「む」の意味は？

◎「む」＋「名詞か名詞省略」

ア仮定（としたら）  
検討してる

例 僧になさむ「こと」は苦し。

イ婉曲（訳不要）  
検討してない

例 し出さむ「こと」を待つ。

※柔らかにするための「む」

◎「む」（下には名詞は絶対来ない）

提案してない  
自分以外の未来

ウ推量（だろう）  
例 雨降らむ。

エ意志（しよう）  
例 我肉食はむ。

自分の未来

※「むとす」はウかエだが、

この見分け方は使えない。

提案している

才勧誘（したらどうか）  
相手あり

例 一郎、花を見てこそ帰らめ。

力適当（のがよい）  
相手なし

例 子はなくてありなむ

このページは空白ページです